

（ 立 中学校）

作成日：平成 年 月 日

作成者：（保護者： ）

ふりがな 氏名：	男・女	生年月日：平成 年 月 日（15）歳
<保護者の願い> ○気持ちのコントロールができるようになってほしい。 ○前向きに学習に向かえるようになってほしい。		<中学校の願い> ○自分の気持ちをコントロールし、友達や先生とより良い関係を作る。 ○落ち着いて学習に向かえる力をつける。
<家庭との共通確認事項> （本人のよさ・心配なこと・ <u>かかわり方の工夫等</u> ） ①パニックのときは、クールダウンする（できる）場所をつくる。 ②落ち着いたらその理由を言わせる。 ③理由や、次どうできるか、など確認したことを保護者に伝える。 （ただし、嫌がっても保護者に伝えることも本人に告げておく。）		

本人の特性（実態）
○基本的な生活習慣が身についている。 ○自分が興味あることには強いこだわりをもつが、学校生活の流れに沿って活動することができる。 ○時間変更、予定変更などが受け入れにくく、気持ちを切り替えることが難しい。 ○イライラしたときは、髪をかきむしることがある。声をかける必要はあるが、自分のタイミングでやめるまでは収まらないことが多い。 ○考えや感情を言葉にすることが苦手である。 ○母の体調など含め、家族のことでの気分の浮き沈みが多い。
特性（実態）に対する配慮事項と支援の手立て等
○人を見下したような話し方や、物を雑に扱うような場面があったとき ⇒高圧的な指導には本人の抵抗感が大きくなるため、「何かあったのか」と思いを聞く姿勢で話をする。 ○イライラしているとき ⇒その場であまりかまわずに、時間をおいてから声をかける。 ⇒クールダウンした後で、「何が嫌だったか」について自分の言葉で話させる。家でも同じ指導をされている。 ○注意や指摘が本人の中に強く残ってしまい、自己否定につながることもあるので、達成させたい目標を明確にし、達成できたことに目を向け、褒め励ます。 ○担任や教科担任が積極的にコミュニケーションを取るように心がけ、周りの生徒と一緒に話ができるよう日頃から心がけた。 ○学校の様子等の家庭連絡を担当と通級指導教室担当者が連携をして行った。

生徒名（ ）

項目		中学校の様子	配慮したこと・有効だったこと
行動・社会性	①感情のコントロール	△ ・学習内容が分からなくてイライラし、頭をかきむしることなどがあった。 ・普段は礼儀正しいが、教師の指導に対して、暴言的な言動になることがある。	○別室で気持ちを聞いてもらう、クールダウンできる時間を与えてもらうなどのことで、落ち着きを取り戻すことができた。 ○対応する教師は、時間をかけず、さっぱりした対応を行った。
	②こだわり	△ ・予定が変わることや、思いがけないことに対してパニックを起こしやすい。 ・自分のやり方やしたいことにこだわり、かたくなになることがある。	○授業中にこだわりが出てイライラする場面では、少しはなれて様子を見てもらうことで落ち着ける。 ○明らかに許されないことを主張したときには他の生徒の前であっても指導をする。ただし、後から必ず本人にフォローをする。
	③指示理解	△ ・全体指導で理解できないときは、なげやりになりやすい。	○全体指導後、理解できないときは、個別に対応が必要であるが、本人の自尊心を大切にできるだけさりげない支援を行った。
	④注意持続	△ ・興味関心がもてるものは一生懸命努力し、頑張ることができる。 ・本人の精神状態や興味関心によって集中力は大きく変わる。	○気分がのらない時に、強制的にやらせるのではなく、声はかけて様子を見る方がよい。事後のフォローが有効である。
	⑤多動・衝動		
	⑥集団参加	△ ・一人でいることを好み、集団での行動を取れないことがある。 ・ゲームつながりなど、小集団や受け入れられていると感じる場所では、笑顔で過ごせる。	○学級の班では、面倒見のよい女子がさりげなく本人が困っているときに声をかけた。 (班のメンバーなどに配慮)
	⑦コミュニケーション	△ ・自分が慕う人にはとても丁寧に接する。その逆もある。 ・初対面の人などには丁寧に敬語も使い話すが、慣れてきた人、本人の気持ちの波によって反応や態度は変わりやすい。	○社会的に承認されない言動が出るときにはしっかり指摘することも有効であった。 ○関係作りができるよう、日頃のコミュニケーションの中で、本人にとって一目置かれる存在、困ったら頼れる存在になる。
	⑧その他		
	⑨移動		
	⑩計画性		

<進学・就労当初予想される配慮事項と支援の手立て等>
○新しい場所、初対面の人、など本人にとって「よそゆき」の場面では礼儀正しくきちんとした態度で過ごせる。本人の慣れや、本人にとって嫌なことがあった後などに気持ちが切れてくると、感情面の浮き沈みが出やすくなると思われる。社会的に容認されない言動に対しては指導しつつ、一方で本人のイライラや涙などの原因をしっかりと聞くという両面の指導が必要である。

生徒名（ ）

項目		中学校の様子	配慮したこと・有効だったこと
学習	①国語（読み書き・聞く話す等）	その時の気分によって左右された。暗唱などは意欲的に頑張って取り組める。	○できたことはしっかりと言葉で認める。 ○本人の状況を見ながら声をかけ続ける。
	②社会	○ 時差の学習時に大変意欲的に取り組んだ。周りにも教える様子が見られた。単調な学習には関心を示さない。	○教え合いの場面を意図的に設定し、意欲をもてるようにした。 ○グラフなどの数的処理、具体物は◎
	③数学	○ 最も意欲がある教科で、計算などは得意である。他の人と違う解き方をすることがあるが、計算の方法は理解している。挙手を積極的にし、分からないところも積極的に聞くことができる。	○教え合い（自分より計算が苦手な生徒に）ができる。 ○計算ミスや解けない問題に取り組むとイライラしやすい。⇒解法を個別に丁寧に教える。
	④理科	1時間の中でも波があり、気分によって取り組む、取り組まないが変わる。	○できたことをほめ、声かけ、励ましをこまめに行う。
	⑤英語	△ 最も苦手な教科である。理解するために説明を聞くことも中々できない。	○個別学習時に文法のパターンを教えて練習させていくとよい。
	⑥音楽	人前で歌ったり、演奏したりすることが苦手である。	○実技テストは別室で実施して本人の気持ちに配慮した。
	⑦美術	こだわりの強い面がある。制作条件を多く提示すると嫌がる。自分のこだわりが強く、作業は早いが雑な面がある。上手くいかないとやる気をなくす。	○個別に対応すると頑張れる。 ○意欲的にしようとするが、全体指導などが待てないので、後から個別に説明するなどの配慮が有効であった。
	⑧保健体育	○ 全般的に運動は得意であるが、腰痛がひどいときには、見学をすることが多かった。	○見学等については、事前に役割やすべきことを確認し、すべきことを明確にすると見通しがもてた。
	⑨技術・家庭	技：コンピュータ操作は堪能である。木工もすばやく仕上げることができた。 家：気分の良い時は、プリントを書く。	○できたことはしっかりと言葉で認める。 ○気分ののらない時は本人の状況を見ながら、しつこくならないよう適度に声をかけ続ける。
	⑩部活動	○ テニス部に所属している。周りがだれていても本人は頑張っていた。	○頑張りをしっかりと評価する。

<進学・就労当初予想される配慮事項と支援の手立て等>

- 教科担任と本人との相性も、本人にとっては大きなストレスになり得る。日頃から丁寧に関係を作っておく。
- 事前に伝えた予定が変更されたり、説明が分からない場合は、教員との関係性ができていても暴言として気持ちを表現してしまうことがある。変更点などはできるだけ早く、分かりやすく伝えることが大切である。
- 教員の「説明が分かりやすい」「言われたことが役立った」と本人が感じたとき、良好な関係が作れた。

生徒名（ ）

項目		中学校の様子	配慮したこと・有効だったこと
健康・体・生活	①健康面	・気温の変化に敏感（例：冬期にストーブに近いと、気分が悪くなることもある。鼻炎が悪化する。）	○後期の班座席については、本人とも個別に確認をとった。身体面の不調を訴えてきやすいので、家庭とも確認を丁寧にする。
	②視力・聴力		
	③運動・姿勢		
	④感覚		
	⑤その他		○イライラしたときは、髪をかきむしることがある。声をかける必要はあるが、自分のタイミングでやめるまでは続くことが多い。考えや感情を言葉にすることが苦手である。

<かかわってもらった専門機関等から（巡回相談・**通級**・保健・療育・医療・福祉・その他）>

○通級指導

- ・主な指導内容は、①話（学校生活など）②英語の学習補充
- ・本人には、「英語の学習を自分に合ったペースで進める」「苦手な英語の補充学習をする」を中心に話をして指導をスタートした。
- ・SST【ソーシャルスキルトレーニング】（感情のコントロール）を進めていきかけたが、本人は必要性を感じておらず、実施できなかった。
- ・通級指導教室の中で分からないことがすぐ聞けるので、毎週1時間、集中して学習に向かえる時間になった。

このシートの内容を進学先や関係する支援機関と情報共有し、支援を進めることに同意します。

名前（保護者）

印

ポイント

- 1 枚目→本人の特性（実態）が分かる
- 2 枚目→行動・社会性が分かる
- 3 枚目→学習面が分かる
- 4 枚目→特筆すべき点（健康、外部連携）が分かる

- ◎シートごとに内容を明確にしました。
- ◎アセスメント票、個別の指導計画、個別の教育支援計画等すべてを送ることができない場合でもコンパクトに情報を伝えることができます。